



県教育庁大川社教主事による講評

郷土をよくしようと願うことは地域住民の共通した考え方であり、その基盤となるものは、住民の盛りあがる力でなければなりません。このような、地域住民の郷土愛を育て、明るい住みよい村づくりの住民運動を推進してゆくことは、社会教育の重要な側面あります。北浦村でも、一月二十四日に小貫小学校にて、村内の有志を集め「郷土をよくする研究集会」が開かれました。

